

新春雑感

大川創業株式会社
代表取締役会長
大阪大学工業会 理事

大川 真一郎

明けましておめでとうございます。年頭所感を書き出して20年以上になりますが、一昨年の地震・津波を言い当てたので、皆さんに不思議がられました。実は阪神大震災の年も地震があると言いました。亥年正月の新聞トップ記事は「不況を克服する為に猪突猛進で行こう」という財界トップの挨拶が多かったが、私は大地震が起こると予言しました。それは毎年、安岡正篤先生の「干支の活学」を基に予言しているからです。「干支の活学」によると「亥」という字は「上」即ち上、つまり地上の上に何もないから地下では女、その下に人、つまり女と男が上下になってゴソゴソしているから揺れる。これは地震だと直感しました。18年前のことです。一昨年は辛卯の年。「辛」という字は、ハ、干から成り立っています。ハは既に述べたように地下でハ、つまりマグマがいきり立って噴火しようとしている。干は干渉、攻撃する意があります。従って辛は自然現象で言えば火山の噴火。地震津波の起こる年。人的に言えば地下組織の不平不満分子が決起して革命を起こす。辛は他に上に立つ人は十字架を背負って大変辛い思いをするという意味もあります。辛の干だけ見るのではなく支が重要です。辛で地震や革命が起こる年だと言っても十二支で例えば未年であれば、つまり辛未の年なら、地震や革命の傾向の年ではあるが「未」未だ起こらないとなります。

ところが一昨年は辛卯の年。卯は門が開いた状態で、さあ突撃。従って霧島連山の噴火に始まり、3.11の東日本大震災・津波・原発の爆発。エジプト・ボリビア・リビアの革命、中国の各地にくすぶる民族独立運動、イラン・シリアの民族紛争に繋がったのです。

昨年は壬辰の年。干支それぞれに女偏をつければ妊娠となる。壬に人偏をつけると任。適材適所に人を配置すると、その人の能力がフルに発揮されます。そして妊娠、満足感、満腹感に溢れる。東日本大震災の後遺症があったものの、一方では未曾有の業績を上げた企業も少なくない。辰に貝偏をつけると賑やかとなる。プーチン・金正恩・習近平は粛々と引き継がれたが、仏大統領はサルコジが破れました。ベネズエラ・米国・韓国は賑やかな選挙合戦が繰り広げら

れ、接戦の末米国はオバマに。賑やかな国首争い。日本も民主党・自民党の党首選があり、自民党が安倍元首相に替わり、衆議院解散で民主党は第一党から転落し、3年間で政権から崩れ落ちる事になります。橋下大阪市長、石原東京都知事が揃って新党を立ち上げました。賑やかさが倍増しました。

夏はロンドンオリンピックで沸きました。日本は金メダルこそ少なかったが、総メダル獲得数はアテネ大会と最多タイでした。メダリストパレードを銀座で行ない50万人で賑わいました。10月は山中伸弥教授のノーベル賞受賞。iPSの医学界における革命の影響は計り知れません。世界一高い塔スカイツリー・東京駅ステーションホテル等賑わったが、私個人としても大賑わいの年でした。

私が校歌を作曲した大阪桐蔭高校の野球部が94年間で7校目となる「春夏連覇」をあっさりやり遂げました。その後、国体でも優勝し、松坂を擁した横浜高校以来の三連覇達成。更に前人未到の甲子園三連覇の偉業の達成を目指して鍛練中です。優勝者の栄誉を称えて歌う校歌が甲子園4万8千人の中で鳴り響くと、感動に溢れ言葉にならない。春夏5試合が2回、合計10回勝つごとに「校歌」が流れます。優勝の式典が終わり校旗が下ろされる時にも合計12回、アルプス席で私が作曲した校歌を聴きました。テレビには歌詞とともに作曲「大川進一郎」と字幕が出るので、一斉に電話やメールが入ってきます。自分が作曲したかのように喜んでくれるのは嬉しいことです。海外からBSで観戦したという人もいます。優勝戦は試合が終わっていないのに朝日新聞と大阪日日新聞の取材を受けました。夏の準々決勝の時、6インニング目にブルズバンドで校歌を歌うからアルプス席で指揮をしてと言われました。校歌の一番を歌い終わって棒を置くや否や万雷の拍手と異様なほどの歓声。身長197cm投手藤浪選手が丁度レフトスタンドにホームランを打ちこんだのです。「校歌を歌った効果」がありました。夏の予選が始まる前、センバツの祝勝会の席で、美味しい料理を前にして水谷主将は「優勝してこんなに美味しい料理が食べられるなら夏も優勝しま

す」ときっぱり断言し、その通りになったのです。それに校歌には優勝という祈りが込められているのです。

大学四年生の時、朝日放送後援の全国コマーシャルソング・コンクールがありました。審査委員長は三木トトリロー。委員は服部良一・服部正・古関裕而・高木東六、錚々たるメンバーです。50社の一つに私の作曲した「クローバー石鹸」が入選しました。それがきっかけで社歌や歌謡曲を素人ながら作曲することになりました。サラリーマンを辞め地元に戻ってくると大東ロータリーソングの作曲を依頼されました。毎週例会で歌っていると会員の大阪産大の大西理事長（当時）が「良い歌や、大阪桐蔭高校も甲子園が近づいてきたので、校歌を作曲してもらえないか」と言われました。大阪は強豪がひしめいています。私はそういう話は大好きで、「はい、分かりました。優勝旗を先頭にマンモス球場のグラウンドを選手諸君が一行になって理事長に向ってくる姿をお見せします」と大口を叩きました。一音一音、優勝優勝と祈りながら作曲したので、強い想いが込められているから強いのです。科学で証明されない現象はインチキだと言われますが、21世紀になって様相が変化しました。元阪大工作センター（現・科学教育機器リノベーションセンター）長の超能力者・政木和夫先生ももう少し長生きをされていたら、今頃異端児どころか時代の寵児になっておられたでしょう。神に祈ると言っても人間が創った神社や仏閣ではありません。宇宙を創った神（サムシンググレート）や太陽神霊と直接対話するのです。ひたすら祈って対話と実行する事だけです。

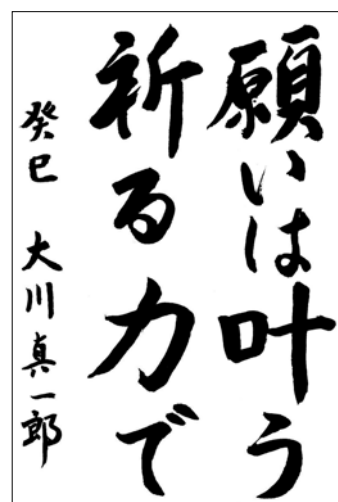
当社のショッピングセンターはJR沿線にあるのに京阪百貨店が2年前に出店してくれました。40年前にダイエーの担当者に「大東市と言ってもこんな田舎に百貨店なんか来ません。来たら逆立ちします。」それが来たのです。ただ祈り、行動したからです。何故百貨店かと言えば百貨店のある土地で商業地域でない処はありません。商業地になって容積率が600%になれば30階建てのマンションが300戸建ち、その利益でオペラハウスができます。

最近祈るだけで癌は30%治ると言う人が現れました。池田邦吉先生です（「癒える光」参考、明窓出版）。抗癌剤で癌は治らない。免疫療法・波動療法を施すと癌は75%治ると言う人が現れました。藤枝縁先生です。両方合わせれば癌は105%完治します。癌を宣告されたと言って恐れる事はありません。ユダヤ資本・厚生労働省・製薬会社・病院は困るでしょう。

さて、今年は癸巳の年。癸は「説文」によると「水四方より地中に流入する形」とあります。季で言えば冬枯で草木も枯れて測量に便利だから手扁をつけて揆（はかる）意

に用い揆度・揆測という熟語があります。水四方より地中に流入するというのは、シェールオイル・ガス、メタンハイドレートの掘削を意味するのか。測るは尖閣諸島・竹島・北方領土の測量を開始するのか、秋田以外にシェールオイルを探し出すのか。揆に一をつけるると一揆となり、中国・韓国のデモ隊が更に激しく暴動に発展する恐れがあります。日本もオスプレイ、原発廃止デモが続くでしょう。国民がデフレで弱っている時に増税を自民・公明と共同で可決したり、自分の領土だと主張する中国にもそれだけの理由があるのでしょうか。互いに国際社会に主張合戦し、世界の人に審判してもらって決着をつけるまでに何故国有化を急いだのか訳がわかりません。盗人も三分の利、つまり3:7で決着をつけ、早く地下資源の開発をし、石油をアラブから一滴も買わずに済むプロジェクトを政府は陣頭に立てやらないと。揆には宰相の意味があります。今年宰相が変わる事は自明の理であります。支の巳は巳・己と異なり頭が上についており、「み」は訓読みで音読みでは「し」です。巳は象形文字で今まで冬眠していた蛇が春になって地表に這い出す形を表しています。従来の地下生活から地上活動をするようになります。つまり、今までの因習的生活に別れを告げるのです。まさに何億年も地下に埋まっていたシェールオイル・ガスやメタンハイドレートが地上に現れるでしょう。長年の夢が叶い地下組織が革命に成功します。iPSで万能細胞が難病を治すと読み取れます。株の世界で辰巳天井と言いますから、上がると思って買わずに、売る12年毎の絶好期です。長年温めていた計画を今一度見つめ直して実行に移せばチャンスが来るでしょう。そこで今年の書き初めは「願いは叶う祈る力で」と書きました。

今年が良い年、行動の年です。頑張ってください。



<参考図書>

「なぜ日本経済は世界最強と言われるか」（東邦出版）

「世界のお金は日本を目指す」（岩本沙弓・徳間書店）

（電気 昭和32年卒）